

●山城総合運動公園

<p>前回検証結果</p>	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート施設の整備を実施したことによる増加した利用者ニーズを分析し、施設全体の利用率の向上のための取組を実施すること。
<p>対応・改善策実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ分析の結果、第2競技場、球技場、野球場、弓道場は、冬期（12月～2月）の平日利用料金を半額とし、利用が少ない冬期の平日利用を増進。 ・夏休み期間中の平日に小中高校生を対象として、第2～第4野球場、野外ステージ、多目的ジムの割引（42%～75%割引）を実施。 ・陸上競技場に夜間照明を設置し、個人利用を促進。 ・空き施設の利用受付や当日の先着順受付を京都府公共施設予約案内システムからの受付に変更し、空き状況の確認と申込みを簡略化。さらに、キャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性を向上。 ・冒険の森において、自然木を利用した新たなアスレチックを整備し、WITH コロナの時代に合った利用者が安心して遊べる施設として、令和3年4月11日に開業。
<p>取組の結果</p>	<p>◇令和元年度に過去最高の利用者数を達成。</p>
<p>なお残る課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園施設全体の老朽化が進行し、今後維持修繕費や基幹施設の改築更新費は増加の見込み。 ◆大規模施設の老朽化及び陳腐化が進み、魅力ある空間利用が不十分で、利用者サービスが低下。 ◆指定管理者による自主事業の拡大を奨励しているが、現在の指定管理期間（5年間）の長さでは、事業実施に消極的。
<p>府民サービス等改革検討委員会による改善意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □現在の公園機能の課題認識に基づき、冬場の利用低下対策や老朽化するプール施設の利活用の準備をしており、利用者増加、公園の魅力向上、自主事業収益の向上等が期待できる。 □高いポテンシャルを有する公園であることを踏まえ、更なる活性化に向けての民間活力の導入を可能にするような体制・仕組みづくりに向けた今後の検討が望まれる。 □公園の再整備等には、今後一定の財源が必要と予想されるが、その多くを公園内で営業を営む事業者が負担していることもあり、これらの事業者のビジネスが円滑に進むように、民間企業の経営の発想を導入して、例えば事業者との契約期間を長期間とするなど検討してはどうか。その場合には、指定管理者への指定管理期間も現行の5年間よりも長期化することが望ましい。 □指定管理期間を一定長期化することにより、本公園の課題改善による運営向上を期待する。

<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p>継続</p> <p>◎利用者の満足度の向上のため、指定管理者による自主事業の拡大や民間活力の導入を更に促進するとともに、施設の再整備等の財源確保を図れるよう、指定管理期間の長期化等による仕組みづくりを検討すること。</p>
	<p><今後の対応></p> <p>○利用者の満足度の向上につながるよう、指定管理者による新たな自主事業の拡大や民間活力を導入した新たな取組を強化する。</p> <p>○指定管理期間を10年とし、民間参入や投資を促進する。</p>